

# 日本の人口経済の将来像

——簡易人口経済計量モデルによるシミュレーション分析——

## A Simulation Analysis on the Future of Japan by Abridged Demo-Econometric Model

大塚 友美

Tomomi Otsuka

日本大学

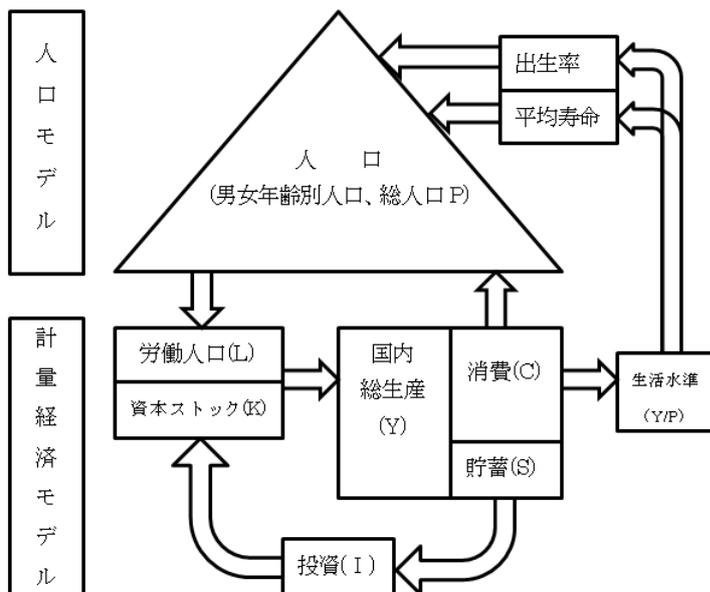
Nihon University

[mortpak@chs.nihon-u.ac.jp](mailto:mortpak@chs.nihon-u.ac.jp)

簡易人口経済計量モデルとは、①人口モデル（コーホート・コンポーネント法）の簡便版（5年間隔で人口を推計する）と、②計量経済モデルの簡便版（5年間隔で経済状況の推計をする）とを連動させた、簡便な小型の人口経済計量モデルのことである。ただし、その基本的構造（図1を参照）は、通常的人口経済計量モデルと同じである。

このモデルには、①通常的人口経済計量モデルに比べて手軽に構築することができる、②通常的人口経済計量モデルとほぼ同じ精度の分析結果が得られる、という長所がある（ただし、通常的人口経済計量モデルのような汎用性はない、といえる）。したがって、簡易人口経済計量モデルは、研究者が自ら構築した仮説を検証する際のシミュレーション・モデル、あるいは学生に人口経済学を講ずる際の教育モデルとして大きな効果を発揮する、といえる。

図1 人口経済計量モデルの概要



いえる。

本研究の目的は、日本の簡易人口経済計量モデルを構築し、これを用いたシミュレーション分析を行うことによって、日本の人口と経済の将来像を考察することにある。

今日の我が国では、少子高齢化現象の急速な進展が複雑かつ多岐にわたる社会や経済問題を引き起こしつつある。このような錯綜した問題を考察するに際して、この簡易人口経済計量モデルによるシミュレーション分析は大きな効果を発揮する。

なお、今回構築した日本の簡易人口経済計量モデル、およびシミュレーション結果の詳細に関しては、当日配布するレジメを参照されたい。